



博報堂DYメディアパートナーズ2008年度入社式

株式会社博報堂DYメディアパートナーズは4月1日(火)午前10時、東京都港区赤坂の本社に新卒採用者23名を迎え、佐藤孝社長以下、全役員および部門長が出席して、2008年度入社式を行いました。新入社員が一人一人紹介された後、佐藤社長が歓迎と激励の言葉を送り、新入社員代表がそれを受けた形で決意の言葉を述べ、式を終了しました。

佐藤社長挨拶の趣旨は以下の通りです。

みなさん、入社おめでとうございます。今日ここに集った23名は、博報堂DYメディアパートナーズがこの赤坂で迎える初めての新入社員です。

2008年も、デジタル化によるメディア環境の激変は続きます。広告も、マーケティングも、そして生活者もまた変わろうとしています。この変化は我々にとって新しい挑戦の時だ、と改めて捉えたい。この節目の年に入社したみなさんには、私だけでなく、先輩社員全員がみな注目しています。若い力を全力でぶつけてください。

博報堂DYメディアパートナーズの一員となった初日に、ぜひ覚えていただきたいことがあります。「メディア効果をデザインする」という、わが社の企業理念です。先輩方はみな同じ意識を持って、仕事に取り組んでいます。わが社の活力がこの企業理念から生まれていると言っても過言ではありません。

「メディア効果をデザインする」を言い換えるならば、自らの智恵と工夫、クリエイティビティをプラスして、メディアやコンテンツの持つ可能性を最大限に引き出すこと、そしてその効果を高めていくことだ、と言えるでしょう。ぜひ、自分自身の智恵を生かしてください。智恵は無限です。そして貯まれば貯まるほど、その効果が二乗三乗に増えていく不思議なものです。クリエイティビティを出せる会社には限界はありません。

もうひとつ、みなさんに知っていただきたいことがあります。当社が博報堂DYグループのハブ機能を担っている会社だ、ということです。

広告の仕事は生活者の「心を動かす」ことができるかどうか、を問われる仕事です。そして商品やブランド、企業そのものと生活者との間にあるのは、メディアであり、コンテンツです。

博報堂、大広、読売広告社というグループの広告事業会社に対して、メディア、コンテンツというビジネ

スの根幹をなす領域で、よい商品を創り出し、提供することができるのは、私たち博報堂DYメディアパートナーズだけなのです。

またハブ機能の中には、人間同士のコミュニケーションを通じて、グループの中でさまざまな情報やアイデアが行き交う場所であり、新しい価値を生み出す母体である、という意味も含まれます。グループ全体の利益や成長の視点からも、私たちに期待される役割はますます大きくなっています。責任は重大です。

今年、私は「信頼される、頼りになる博報堂DYメディアパートナーズ」をテーマに掲げています。グループ内はもとより、媒体社・コンテンツホルダー、そして得意先から、「この人たちに相談すればとても新しい、そして面白いものができあがる」と思ってもらえるようにしたい。

そのために不可欠なものは、智恵、よきフットワーク、そして丁寧なコミュニケーションです。ゆるぎない信頼とは、毎日の積み重ねの結果としてしか、勝ち取ることはできません。

私たち一人ひとりが信頼される個人となり、その集合としての会社でありたい。自らが積極的に、かつ継続的に動き続けていくことで、信頼感にあふれる会社として成長していきたいと思います。みなさんも今日から私と同じ志を持った仲間です。日本で唯一の総合メディア事業会社である博報堂DYメディアパートナーズを力強く前進させていきましょう。

以上

2008年4月1日
博報堂DYメディアパートナーズ
経営計画室 広報グループ
03-6441-9347